

平成26年度 大分豊府中学校・高等学校入学式式辞

新たな生命が芽吹き、華やかな出発を祝うこの佳き日に、PTA会長佐藤康成様、豊流会会長篠永朋子様はじめ多くの来賓のご臨席を賜り、保護者の皆様のご列席のもと、大分県立大分豊府中学校第8回入学式、大分県立大分豊府高等学校第29回入学式が盛大に挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました中学校第8期生120名、高等学校第29期生281名の新生のみなさん入学おめでとう。

本校は、「感動・理知・友愛」を校訓とし、一人ひとりが高い志を持ち、創造的な知性と豊かな人間性と逞しさを備え、国際社会でリーダーとして活躍できる人材を育成することを教育目標とする、本県で唯一の公立併設型中高一貫教育校です。皆さんは本校で学ぶことを自らの意思で選択し、本校入学を果たされました。合格発表で自分の受験番号を見つけた瞬間、言葉では言い表せない感動があったと思います。そして今日、期待に胸を膨らませて校門をくぐったと思います。今の感激と希望を忘れず、新たな第一歩を力強く踏み出して下さい。私たち教職員は、みなさんの夢の実現を支援するため情熱と愛情を持って全力で向かい合います。厳しい指導もします。皆さんが10年後、20年後、世界の中で自分らしく、誇り高く生きる力を育てていきます。

大分豊府の学校生活は生ぬるいものではありません。それは、ダイヤモンドは磨かなければ光り輝かないからです。戦国時代の武将、山中鹿之介幸盛は三日月に向かい「願わくば、我に艱難辛苦を与え賜え」と祈ったといわれています。艱難辛苦とは非常な困難にあつて苦しみ悩むことを言います。生まれたままの自分で年だけを取り、体だけ大きくなっていく。これでは、生きていくことになりません。人は失敗して成長します。悩みや苦しみを克服して大人になっていきます。困難を乗り越えて生きる力をつけていきます。

あなたたちには無限の可能性があります。その可能性は艱難辛苦から逃げず真正面から立ち向かうことで、夢に進化します。夢を実現させるため、悩み苦しんで成長していきましょう。そして、世界に通用する力、世界標準の人間力・学力を本校で身につけ、世界に貢献できる人となってください。

保護者の皆様、本日はまことにおめでとうございます。教職員一同、責任をもってお子様の教育に当たる所存であります。高校1年生は3年後、中学1年生は6年後には独り立ちして自分の力で歩き始めます。長い人生の中ではほんの一瞬の時間ですが、子供たちの人生で最も重要な時間です。この限られた時間の中で、子供たちを社会に有意な人材として成長させていくためには、学校と家庭がそれぞれの責任と役割を果たしながら、互いに補完していくことが重要です。ご家庭におかれましても、子供たちを庇護するだけでなく、艱難辛苦に立ち向かう勇気を教え諭してください。決して安楽ではない本校の教育活動にご理解を賜り、ご支援とご協力をお願いします。

本校は今、大きく飛躍しようとしています。今春本校を旅立った中学2期・高校26期生は大分豊府の新しい1ページを開いてくれました。その新たな道を本日入学された401名の生徒諸君を加えた生徒1185名、教職員98名が共に歩み続けることをお誓い申し上げ、式辞といたします。

平成26年4月9日

大分県立大分豊府中学校
大分県立大分豊府高等学校
校長 有定 裕雅